

特養待機者 52 万人
42%が要介護 4・5（厚生労働省）

厚労省は 3 月 26 日、特別養護老人ホームへの入所を希望する待機者が、全国で 52 万 3,584 人に上るとの調査結果を公表した。2009 年の前回調査より約 10 万人増えた。

2013 年 10 月 1 日時点で都道府県が把握している入所申し込みの状況を集計した。待機者の今の居場所を在宅・施設で区別するとほぼ半々。要介護度別では 4～5 が 42%を占めた。

都道府県別では、東京（4 万 3,384 人）が最多で、次いで宮城（3 万 8,885 人）、神奈川（2 万 8,536 人）、兵庫（2 万 8,044 人）の順だった。

一部の府県では重複があったり「要介護 3 以上のみ」など条件を設けたりしているため、厚労省は「都道府県間の単純な比較はできない」としている。

（福祉新聞・第 2662 号 2014 年 3 月 31 日）